

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点	都道府県・政令市 等の意見
1 (資料6)	名古屋港 ふ頭再編整備事業	愛知県名古屋市、常滑市、弥富市、 海部郡飛島村	平成21年度～令和 61年度	4,288 4,324 ※36億円事業費増	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない。	総事業費4,324億円 既投資額1,538億円 令和5年度現在 事業進捗率36%	令和61年度整備完了予定 【飛島ふ頭地区】 ・今後、コンテナターミナル(R2岸壁)の整備を 進め、令和11年度の事業完了を目指す。 【鍋田ふ頭地区】 ・今後、西航路(拡幅)に着手し、令和10年度 の整備完了を目指す。 【金城ふ頭地区】 ・今後、背後ふ頭用地の造成を進め、令和10 年度の整備完了を目指す。 【庄内川地区】 ・今後も継続的に泊地浚渫を実施し、港湾機 能の維持を図る。	・引き続き、コスト削減を念頭に置 き、適正工法の選定、ライフサイ クルコスト(LCC)低減となるよう努め る。 ・代替案立案等の可能性について、 本事業以外代替案はない。	【事業全体】 総便益B:7,409億円 総費用C:4,311億円 B/C=1.7 【事業全体】 総便益B:7,503億円 総費用C:4,612億円 B/C=1.6 【残事業】 総便益B:3,932億円 総費用C:2,406億円 B/C=1.6 【残事業】 総便益B:3,825億円 総費用C:2,342億円 B/C=1.6	継続
2 (資料7)	国道153号 豊田北バイパス	自 愛知県豊田市逢妻町 至 愛知県豊田市勤八町	H18、H20年度事業 化 H21年度用地着手 H25年度工事着手	449 449	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない	用地進捗率 約93% 事業進捗率 約61% (令和5年 3月末時点) 愛知県豊田市平戸橋町～豊田市勤 八町 L=0.8km 令和元年度開通(2/4)	・令和5年度は以下内容を実施 【豊田市逢妻町～豊田市平戸橋町】 ・調査推進: 水文調査、 調査設計(協議用資料作成等) ・用地買収推進: 上原地区ほか用地買収 ・工事推進: 真宝高架橋下部工	・3次元モデル(BIM/CIM)を構築・活 用することで、事業効率化・高度化 を図っていく。 ・豊田南バイパスでは、レーザー測 量により取得した現況地形と3次元 の設計データを重ね合わせること で、施工時のイメージを技能者やオ ペレータとも共有することで、手戻り の無い施工計画の立案に活用し、 作業時間短縮を図る。 ・技術の進展に伴う新工法の採用 等による新たなコスト削減に努めな がら事業を推進する。	【事業全体】 総便益B:4,781億円 総費用C:2,374億円 B/C=2.0 【事業全体】 総便益B:6,320億円 総費用C:2,625億円 B/C=2.4 【残事業】 総便益B:2,349億円 総費用C:359億円 B/C=6.5 【残事業】 総便益B:2,922億円 総費用C:336億円 B/C=8.7	継続
									931 972 ※41億円事業費増 ①物価上昇による増額 ②歩道配置計画の見直し	・地元情勢の変化等事業を 巡る社会経済情勢等に大き な変化が見られない